



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

ロータリーを高めよ
思いを尽くし 熱意を尽くし

HONOR ROTARY
WITH FAITH AND ENTHUSIASM



PolioPlus



●次回卓話予定者

国際大会月間
会員増強推進月間

1991. 6. 7. (金) 第177回例会

本日のプログラム

- 1 点 鐘
- 2 国歌斉唱
- 3 ロータリーソング「高めよロータリー」
- 4 「四つのテスト」唱和
- 5 食 事
- 6 会長の時間
- 7 幹事報告
- 8 各委員会報告
- 9 6月セレモニー
- 10 会員卓話
- 11 点 鐘

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒 880-02 佐土原町大字下田島9883番地 1
TEL 0985-73-0015

会 長 佐 野 保
副 会 長 神宮寺 利 夫
幹 事 鈴木 正 敏
会 計 浜 田 松 太 郎
会報責任者 垂 水 敏 雄

第176回例会記録

(平成3. 5. 31)

会長より 佐野 保

先週は末生流の花のことを話しました。今日は、その花を活ける水器について一言。水器は花との調和が第一です。例えば、竹の筒(寸渡)にもいろいろと規定があり、何か古めかしさを感じます。また、器の水にしても、夏は満水とし、冬は少なくと、季節に合わせてるようにし、自然の中に活け続けております。その一体となった時に「静中動」を見ることが出来ます。

それは、ロータリアンが地域社会に貢献しようとする心に等しいような気がします。

幹事報告 鈴木 正 敏

- 1 本日は例会変更通知は来ておりません。
- 2 米山だより14号をお届けしました。
- 3 正岡会員から、先週推薦いただいた「前田氏」に直接会って入会を勧めましたところ、6月から出席したいとのことでありました、と報告がありました。

会長エレクトより 濱 田 松太郎

1991～92年度のクラブ計画(公式訪問報告書)作成に取り組みたいと思います。

先に配布しました各委員長の方は、今回の例会までに各委員会の活動方針・活動計画・予算計画を鈴木幹事まで提出していただきますようお願い申し上げます。なお次年度の当クラブの目標は「会員増強」に重点を置いて邁進したいと考えております。

会員卓話(要旨) 岩切 正 司 君

6月5日に当寺で結婚式を挙げることになった。わが国の結婚式の内容の歴史を見てみると、戦前は各家庭で祝儀が行われ、あまり宗教色はなかった。戦後になってから宗教色が出るようになり、今では殆ど神前で行うようになった。

外国の結婚式は司祭者のサインがないと成立しない。日本はこの点、役場に届ければ結婚が成立するようになっている。三三九度の盃の交換は日本式の契りの結婚である。神主さんが結

婚式を司りだしたのは戦後で、葬儀に携わるようになったのは明治4年からである。あるご住職が神社で結婚式を挙げられた例があるが、このように自覚がないのが日本人の特徴ともいえる。最近では結婚式より披露宴の方に注目がエスカレートしているようで、親としては莫大なお金がかかるが、果して新郎新婦の前途に本当に有益なのか心すべきことである。

ビジター特別卓話 大石 太郎 君

今回で4回ほど出会わせていただいているが、来るたびに小じんまりしていてよいなと思う。先きに会員増強についてのお話があったので、私なりに所見を申し上げたい。ロータリークラブは質が量か、という問題にもなるが、やはり委員会の構成や活動能力から考えて、最低40～50名のクラブ会員数が望ましいのではないかと思う。当初は、あまり拳仕、拳仕と表に出して言っても、なかなか理解は得られないと思う。むしろ、クラブに参加して広くお友達になるのではないかと、とアピールしていく方がよいと考える。そして、自己研鑽にはロータリー例会が役に立ちますよ、と訴え、さらには次の世代の人々のためにすばらしい社会を贈る義務が今の私達にはあることを理解してもらうことが、入会勧誘の基に必要だと思う。皆さんご自身がロータリーをよく認識され、お一人で2～3人は入会者を推薦するのだという意気込みで、ますます頑張ってくださいと存じます。

第176回例会 5月31日(金)

ビ ジ タ ー

西都RC 大石 太郎君(63年度会長)

〃 沼口 武彦君

出 席 状 況

会 員 数	17名
ホーム欠席者数	3名
ホーム出席者数	14名
ホーム出席率	82.35%
メークアップ者数	0名
欠 席 者 名	井下・今村・猿渡